

AI オンデマンド交通「にゃんデマンド」実証運行に関する検証等の項目（案）について

1 令和 6 年度の実証運行

令和 6 年度は、運行期間が短いことから評価を行わず、下の項目（案）を把握し、課題等の整理を行う。

2 令和 7 年度以降の実証運行

令和 7 年度以降、実証運行を継続する際は、下の項目（案）をベースに把握・検証の項目を再度整理した上で評価を行う。

把握・検証の観点	把握・検証の項目（案）	把握・検証のための調査分析			
		運行データ	アンケート調査		
			事前アンケート （利用パンフレット添付）	事後アンケート （利用実態結果添付）	利用者アンケート
導入目的の実現状況（論点 1 関連） 交通ネットワークでの位置付けの実現状況（論点 2 関連） 既存交通への影響（論点 3 関連） 移動ニーズの実現状況（論点 4 関連）	◆ 導入地域での移動負担軽減や利便性向上に貢献したか。 ◆ フィーダー的、ファースト・ラストワンマイル的な地域交通となっているか。 <ul style="list-style-type: none"> 坂道・階段が多い場所での移動状況 生活関連施設への移動状況 交通結節点への移動状況 利用者の属性（高齢者、子育て世帯、障害者） 	<ul style="list-style-type: none"> 属性別の登録者数 属性別の利用者数 属性別の各 MP の利用状況（駅、バス停） 利用の多い MP・OD の特徴（生活関連施設への移動、坂道・階段周辺での移動との関連性） 	①AI オンデマンド交通導入により期待される効果（直接効果） ②想定する利用目的（地域内、地域外への移動）	【利用者】 ③利用状況（利用頻度・移動目的・行き先・乗り継ぎ） ④AI オンデマンド交通がなかった場合の移動の状況 【利用者】 ⑦AI オンデマンド交通導入により期待される効果（利用者への効果）	①利用状況（利用頻度・移動目的・行き先・乗り継ぎ） ②AI オンデマンド交通がなかった場合の移動の状況 ④AI オンデマンド交通導入により期待される効果（利用者への効果）
持続性の見通し（論点 5 関連）	◆ 利用者数や収支率はどのような状況か。	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 日別・時間帯別利用者数 運賃収入（無料体験乗車券）、支出 	—	①実証実験の認知度 ②利用の有無 ⑧今後の利用意向（利用者・非利用者）	⑤今後の利用意向
AI オンデマンド交通の運行形態の妥当性（論点 6 関連）	◆ 運行形態やサービス内容は適切であったか、改善が考えられる項目はあるか。 <ul style="list-style-type: none"> MP、運行エリア、運行日時、予約方法、運賃、車両サイズ、配車など 	<ul style="list-style-type: none"> 利用希望時間分布 MP 別の利用状況 予約成立状況、乗合率、実車率 等 予約方法 	—	【非利用者】 ⑥利用しなかった理由 【利用者】 ⑤AI オンデマンド交通の運行形態に関する満足度・改善点	③AI オンデマンド交通の運行形態に関する満足度・改善点
導入地域への効果	◆ 導入により地域生活への効果が期待されるか。 <ul style="list-style-type: none"> 外出機会の増加、地域交流・地域活動の促進、高齢者・障害者・子育て世代の暮らしやすさ等 	—	①AI オンデマンド交通導入により期待される効果（導入地域への効果）	⑦AI オンデマンド交通導入により期待される効果（導入地域への効果）	④AI オンデマンド交通導入により期待される効果（導入地域への効果）
利用者属性をクロス集計の項目として把握		■利用者属性 <ul style="list-style-type: none"> 年齢（生年月日）、性別 料金区分 住所（町字） 予約方法の内訳 	■利用者属性 <ul style="list-style-type: none"> 年齢（年代）、性別 住所 障がい者手帳の保持 6 歳未満の子供有無 普段の移動（手段、目的） 普段の移動の課題 インターネットの利用状況 	同左	同左